

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第111回)

2024年 7月 ~ 9月期 実績

2024年 10月 ~ 12月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
(1) 設問に対する業種別回答	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
(2) 業種別D I 値について	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
(3) 全体D I 値について	8
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
(4) 比較資料編	9
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所L O B O調査、日銀短観)	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2024年9月
- ② 調査対象期間 今期(2024年7月～9月期)に対する前期(2024年4月～6月期)及び前年同期(2023年7月～9月期)との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ(製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業)に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率	
全体	270	→	212	78.5	(%)
輸送機器	40	→	34	85.0	(%)
その他製造	40	→	36	90.0	(%)
建設業	50	→	42	84.0	(%)
卸売業	30	→	23	76.7	(%)
小売業	40	→	29	72.5	(%)
サービス業	70	→	48	68.6	(%)

5. D I 値について

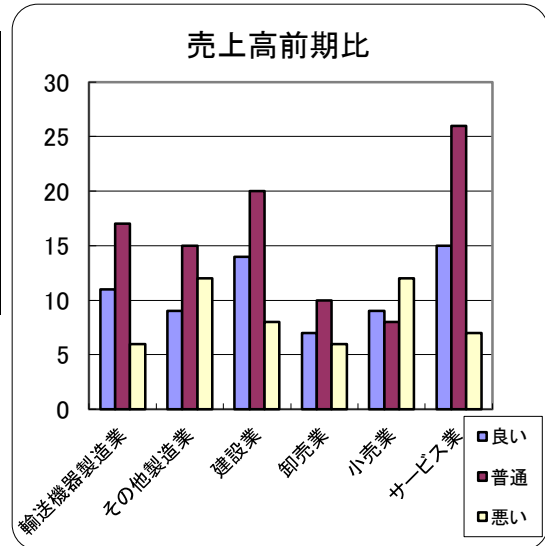
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い(増加)と答えた企業の割合から、悪い(減少)と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例: ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

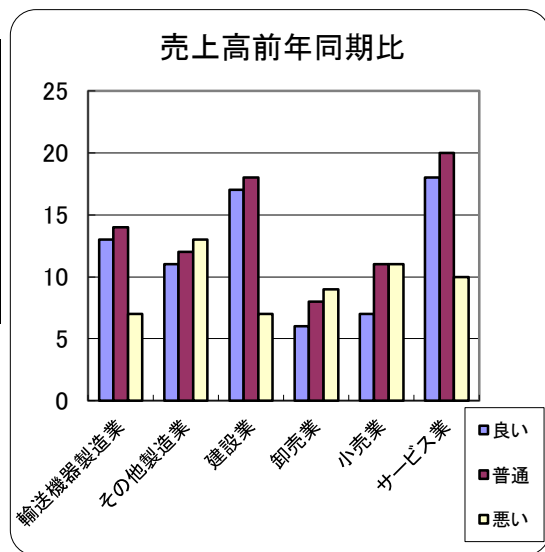
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	11	17	6	34	14.7
その他製造業	9	15	12	36	▲ 8.3
建設業	14	20	8	42	14.3
卸売業	7	10	6	23	4.3
小売業	9	8	12	29	▲ 10.4
サービス業	15	26	7	48	16.7
合計	65	96	51	212	6.6



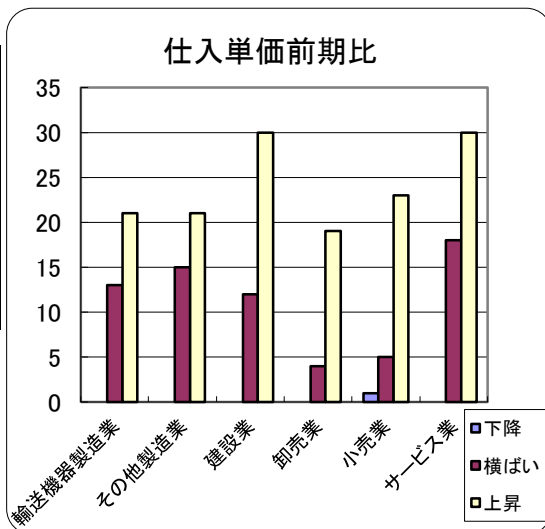
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	13	14	7	34	17.7
その他製造業	11	12	13	36	▲ 5.6
建設業	17	18	7	42	23.8
卸売業	6	8	9	23	▲ 13.0
小売業	7	11	11	29	▲ 13.8
サービス業	18	20	10	48	16.7
合計	72	83	57	212	7.1



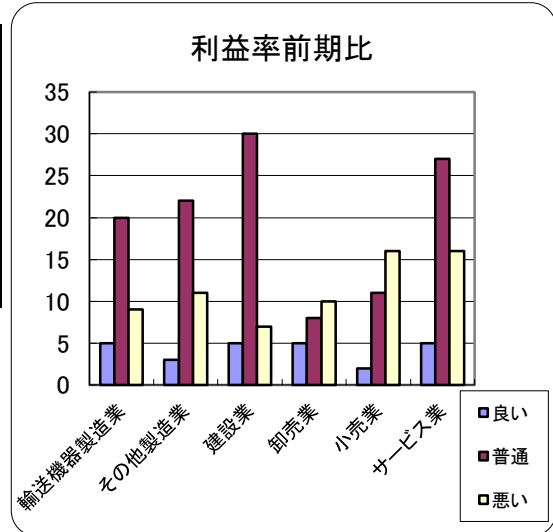
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	13	21	34	▲ 61.8
その他製造業	0	15	21	36	▲ 58.3
建設業	0	12	30	42	▲ 71.4
卸売業	0	4	19	23	▲ 82.6
小売業	1	5	23	29	▲ 75.9
サービス業	0	18	30	48	▲ 62.5
合計	1	67	144	212	▲ 67.5



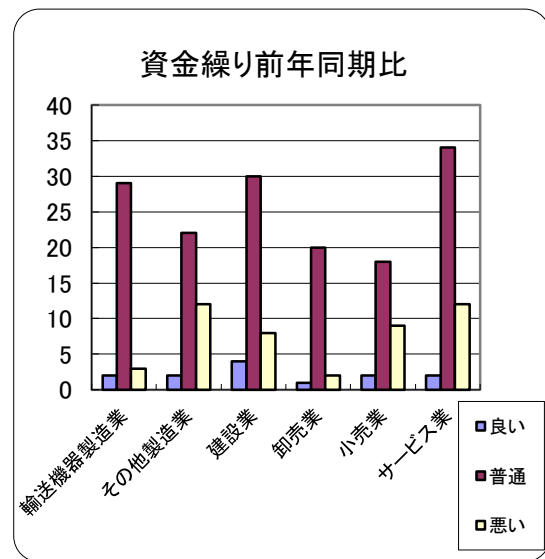
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	20	9	34	▲ 11.8
その他製造業	3	22	11	36	▲ 22.2
建設業	5	30	7	42	▲ 4.8
卸売業	5	8	10	23	▲ 21.7
小売業	2	11	16	29	▲ 48.3
サービス業	5	27	16	48	▲ 22.9
合計	25	118	69	212	▲ 20.8



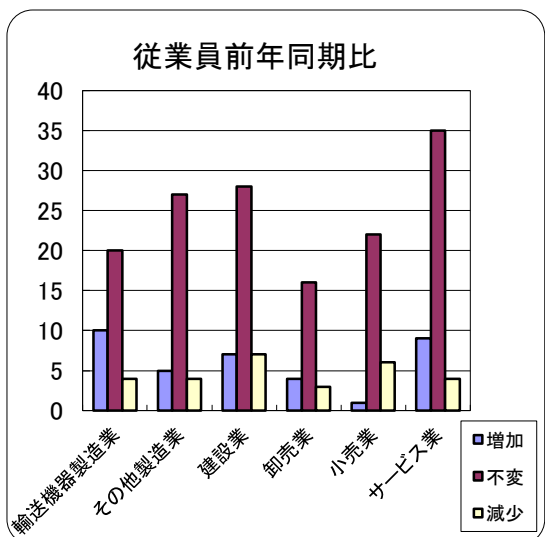
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	29	3	34	▲ 2.9
その他製造業	2	22	12	36	▲ 27.8
建設業	4	30	8	42	▲ 9.5
卸売業	1	20	2	23	▲ 4.4
小売業	2	18	9	29	▲ 24.1
サービス業	2	34	12	48	▲ 20.8
合計	13	153	46	212	▲ 15.6



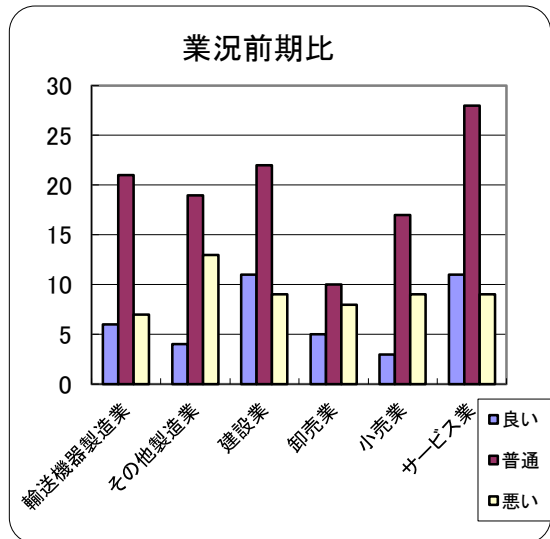
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	10	20	4	34	17.7
その他製造業	5	27	4	36	2.8
建設業	7	28	7	42	0.0
卸売業	4	16	3	23	4.4
小売業	1	22	6	29	▲ 17.2
サービス業	9	35	4	48	10.4
合計	36	148	28	212	3.8



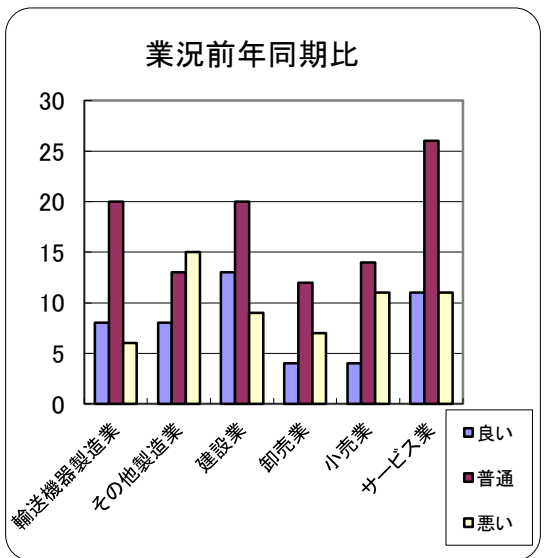
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	21	7	34	▲ 2.9
その他製造業	4	19	13	36	▲ 25.0
建設業	11	22	9	42	4.8
卸売業	5	10	8	23	▲ 13.0
小売業	3	17	9	29	▲ 20.7
サービス業	11	28	9	48	4.2
合計	40	117	55	212	▲ 7.1



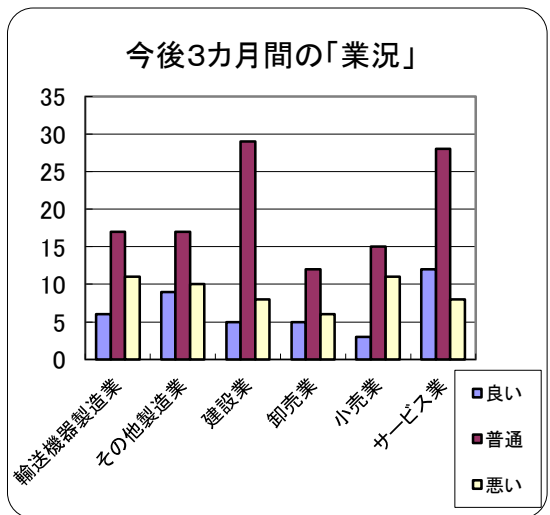
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	20	6	34	5.9
その他製造業	8	13	15	36	▲ 19.5
建設業	13	20	9	42	9.5
卸売業	4	12	7	23	▲ 13.0
小売業	4	14	11	29	▲ 24.1
サービス業	11	26	11	48	0.0
合計	48	105	59	212	▲ 5.2



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	17	11	34	▲ 14.7
その他製造業	9	17	10	36	▲ 2.8
建設業	5	29	8	42	▲ 7.2
卸売業	5	12	6	23	▲ 4.4
小売業	3	15	11	29	▲ 27.6
サービス業	12	28	8	48	8.3
合計	40	118	54	212	▲ 6.6



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	8.3	14.7	6.4
売上高前年同期比	▲ 8.3	17.7	26.0
仕入単価前期比	▲ 63.9	▲ 61.8	2.1
利益率前期比	▲ 16.7	▲ 11.8	4.9
資金繰り前年同期比	▲ 5.6	▲ 2.9	2.7
従業員前年同期比	2.8	17.7	14.9
業況前期比	0.0	▲ 2.9	▲ 2.9
業況前年同期比	▲ 16.7	5.9	22.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 5.6	▲ 14.7	▲ 9.1

[企業コメントより]

- ・客先の生産計画増(に加え)、材料・電力等の高騰に対する価格転嫁が少し進んだため、利益率は若干上昇した。【ゴム・樹脂部品製造】
- ・金属系の仕入(価格)は上がり続けている。その(コスト上昇)分は、サービス残業でカバーするしかない。【自動車金属部品製造】
- ・生產品目の生産量(発注量)の鈍化(若干の目減り)が次回(の発注)からは通常になりつつある。結果、今までの8割(の売上高)が今は普通になっている感じ。(一方、)素材費・人件費の高騰は続いている。受注数量の減少が今後も続く予想している。【金属管部品製造】
- ・車の生産が上向きになってきたようである。【樹脂成形加工】

その他製造業	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 13.9	▲ 8.3	5.6
売上高前年同期比	▲ 19.5	▲ 5.6	13.9
仕入単価前期比	▲ 61.1	▲ 58.3	2.8
利益率前期比	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 5.5
資金繰り前年同期比	▲ 19.5	▲ 27.8	▲ 8.3
従業員前年同期比	▲ 2.8	2.8	5.6
業況前期比	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 8.3
業況前年同期比	▲ 16.7	▲ 19.5	▲ 2.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 19.5	▲ 2.8	16.7

[企業コメントより]

- ・季節商品なので今が(発注の)ピークと言えよう。今後の3か月間は今期よりも下降すると思われる。寒くなり追加商品が増えることを願う。全体的に2023年が暖冬だったため、2024年は生産を縮小しているアパレルメーカーが多い。【ニット製品製造】
- ・夏が長く(続いたため)、秋物の動向が悪化した。【ニット製品製造】
- ・円安が落ち着き、やや円高となったため、(製造)コストは今後安くなると思われる。販売単価は値上げした後、落ち着いている。また、円高だから顧客からは値下げの要求は今のところなく、(これも)落ち着いている。【食料品製造】
- ・10月からプラスチック材料が値上げとなる場所もあり、困っている。昨年からのコロナ融資の返済により、資金繰りも悪化しており、外注費や材料費など先に出ていくお金の負担が大きい。唯一の救いは、昨年に比べ仕事が戻ってきつつあるところ。なんとかコロナ前の売上まで戻って欲しい。【プラスチック製品製造】

建設業	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 4.4	14.3	18.7
売上高前年同期比	▲ 13.3	23.8	37.1
仕入単価前期比	▲ 68.9	▲ 71.4	▲ 2.5
利益率前期比	▲ 20.0	▲ 4.8	15.2
資金繰り前年同期比	▲ 8.9	▲ 9.5	▲ 0.6
従業員前年同期比	4.5	0.0	▲ 4.5
業況前期比	▲ 11.1	4.8	15.9
業況前年同期比	▲ 11.1	9.5	20.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 13.3	▲ 7.2	6.1

[企業コメントより]

- ・資材高騰、人材不足(が厳しい)。【土木工事】
- ・前期に比べ売上高は上昇しているが、材料費や人件費の高騰により利益率は大幅に低下している。人手不足も依然深刻で改善の見通しはない。業況は11月まではまずまずだが、12月以降は不透明となっている。【建設付帯工事】

卸売業	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 9.5	4.3	13.8
売上高前年同期比	▲ 14.3	▲ 13.0	1.3
仕入単価前期比	▲ 85.7	▲ 82.6	3.1
利益率前期比	▲ 9.5	▲ 21.7	▲ 12.2
資金繰り前年同期比	▲ 4.8	▲ 4.4	0.4
従業員前年同期比	▲ 4.8	4.4	9.2
業況前期比	▲ 14.3	▲ 13.0	1.3
業況前年同期比	▲ 14.3	▲ 13.0	1.3
今後3ヶ月間の業況見通し	4.8	▲ 4.4	▲ 9.2

[企業コメントより]

- ・太田市補助金支援事業について、補助金支援が10年に1回と定められていますが、10年は長期間だと考えるため短縮を望んでいます。(→そうしないと売上が伸びない)【住宅資材卸】
- ・今年は異常な暑さの夏であり、暑すぎると清涼飲料水を飲む量が増えるため、ビール類(アルコール)の消費にとってはマイナス要因(となる)。【飲料品卸】
- ・補助金を活用した機械販売(を開始したこと)により、売上高は増加しております。【金型部品卸】
- ・計画的に事業縮小をおこなっております。【飲料品卸】
- ・売上高は順調に推移している一方で、値上・価格転嫁が進んでおらず、売上総利益は悪化した。ただし医療へのニーズは引き続き一定水準で見込めることから、昨年と同程度以上の業績は確保できる見込み。【医療用器具卸】

小売業	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 14.7	▲ 10.4	4.3
売上高前年同期比	▲ 26.5	▲ 13.8	12.7
仕入単価前期比	▲ 88.2	▲ 75.9	12.3
利益率前期比	▲ 47.1	▲ 48.3	▲ 1.2
資金繰り前年同期比	▲ 23.5	▲ 24.1	▲ 0.6
従業員前年同期比	▲ 17.7	▲ 17.2	0.5
業況前期比	▲ 52.9	▲ 20.7	32.2
業況前年同期比	▲ 52.9	▲ 24.1	28.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 47.1	▲ 27.6	19.5

[企業コメントより]

- ・ショッピングセンターへのテナント出店している小売業です。売上は好調ですが、諸経費の増加及び人件費の激増により、必要人員が確保できず、売上にも悪影響を及ぼし始めています。【化粧品・小物販売】
- ・原料高が止まりません。【文房具販売】
- ・去年の同期に比べて暑いにもかかわらず、売り上げは減っている。まだ一割位なので仕方がない気はするが、嗜好品は買わない(人の)割合が広がっている。【飲料小売】
- ・仕入単価が上昇しているが、(新米が?)出揃えば下がると思うが、その下がる時期が読めない【米・雑貨店】
- ・店舗販売は順調だが、通販サイトの価格競争が厳しくなり利益率が下がって来ている。見守るか、攻めるか、どうする俺!【嗜好品店】

サービス業	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	5.7	16.7	11.0
売上高前年同期比	11.3	16.7	5.4
仕入単価前期比	▲ 69.8	▲ 62.5	7.3
利益率前期比	▲ 34.0	▲ 22.9	11.1
資金繰り前年同期比	▲ 15.1	▲ 20.8	▲ 5.7
従業員前年同期比	▲ 5.7	10.4	16.1
業況前期比	▲ 11.3	4.2	15.5
業況前年同期比	▲ 7.6	0.0	7.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 5.7	8.3	14.0

[企業コメントより]

- ・本業に専念していたことと、イベント等の復活で(業績が)安定した。【情報サービス】
- ・物流2024年問題に対応するため、取引先が年初に運賃を20%上昇させてくれたので、業績低迷から抜け出した。【陸送】
- ・殆どの物が物価高となり先の見通しがまだ見えない。今までこのまま通してきたが、もう少し先にいったら考える時期かなと思う。【食品製造販売】
- ・原材料の高騰、人件費の増加などの分を、価格に転嫁できないでいる。【寿司店】
- ・人が集まる催事等ができるようになったので、業況も良くなることを期待しています。忘年会・新年会等は期待値大です。【ケータリングサービス】
- ・日銀の政策金利を0.25%上げにより為替が円高ドル安に転じ、商品相場も初夏よりも一段も二段も下げた。製造業の生産は相変わらず上がらないため、売上、利益率ともに悪化する傾向が見え始めた。
'24年末にはどうなってくるのか?【資源回収】
- ・主力食材の高騰があったため値上げを実施したが、売上が上がるも利益率は減少。繁忙期が過ぎ、先行き不安である。【飲食店】

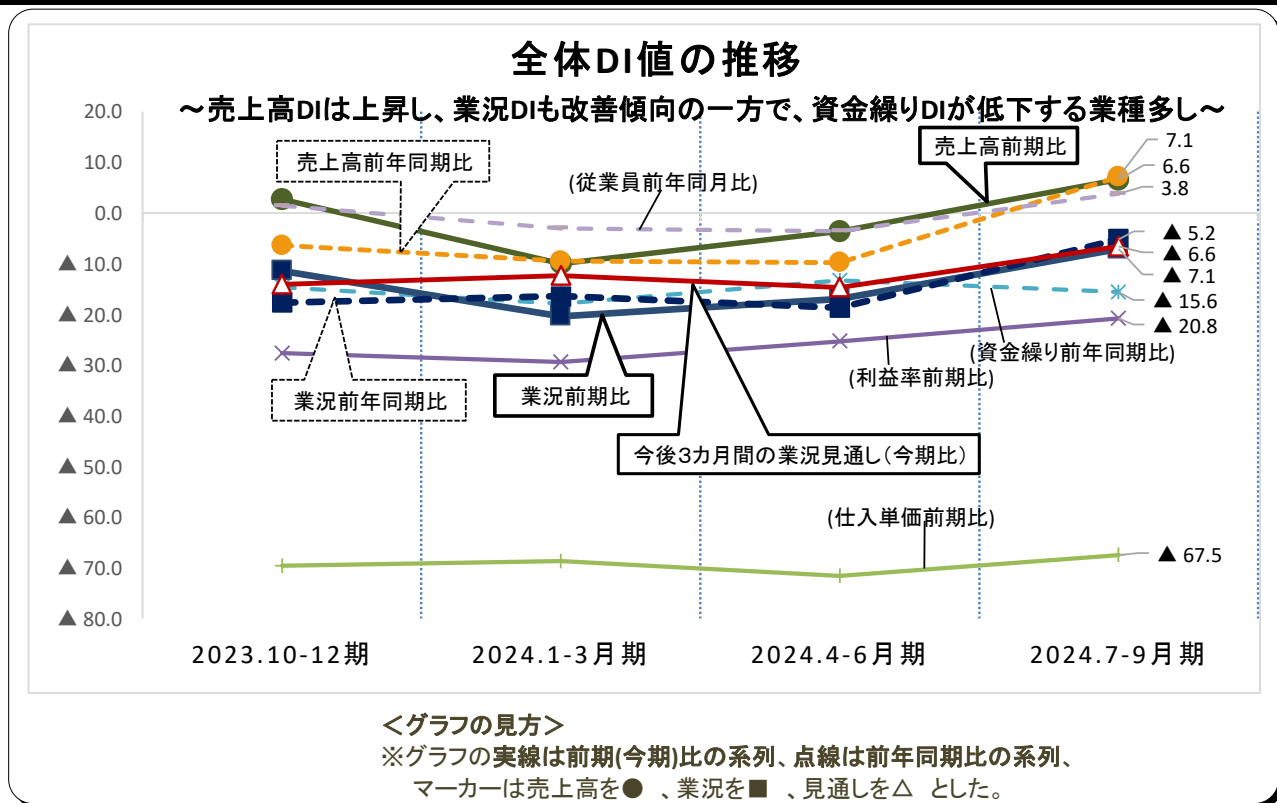
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(4~6月期)	今期(7~9月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 3.6	6.6	10.2
売上高前年同期比	▲ 9.8	7.1	16.9
仕入単価前期比	▲ 71.6	▲ 67.5	4.1
利益率前期比	▲ 25.3	▲ 20.8	4.5
資金繰り前年同期比	▲ 13.3	▲ 15.6	▲ 2.3
従業員前年同期比	▲ 3.6	3.8	7.4
業況前期比	▲ 16.9	▲ 7.1	9.8
業況前年同期比	▲ 18.7	▲ 5.2	13.5
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 14.7	▲ 6.6	8.1

<動向について>

- ・7～9月の売上高前期比DIは全業種いずれも上昇し、業況前期比DIも輸送機器・その他製造業を除く業種で上昇した。仕入単価DIも建設業を除く全業種で前期比改善方向だが、回答者のコメントにはなお物価高・人件費高への不安の声が多い。
- ・一方、全産業ベースで唯一前回比マイナスとなったのは資金繰り前年同期比DIで、業種別でも輸送機器と卸売業以外の業種は全て前回を下回った。コロナ融資の弁済負担の影響ありか。
- ・今後3か月間の業況見通しDIは、全産業ベースでは改善予想も、輸送機器と卸売業はやや低下を見込むなど、慎重な見方も存在する。

全体DI値の推移	2023.10-12期	2024.1-3月期	2024.4-6月期	2024.7-9月期
売上高前期比	2.7	▲ 10.0	▲ 3.6	6.6
売上高前年同期比	▲ 6.4	▲ 9.5	▲ 9.8	7.1
仕入単価前期比	▲ 69.6	▲ 68.7	▲ 71.6	▲ 67.5
利益率前期比	▲ 27.7	▲ 29.4	▲ 25.3	▲ 20.8
資金繰り前年同期比	▲ 14.6	▲ 17.9	▲ 13.3	▲ 15.6
従業員前年同期比	1.4	▲ 3.0	▲ 3.6	3.8
業況前期比	▲ 11.4	▲ 20.4	▲ 16.9	▲ 7.1
業況前年同期比	▲ 17.7	▲ 16.4	▲ 18.7	▲ 5.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 14.1	▲ 12.4	▲ 14.7	▲ 6.6



(4) 比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、7～9月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	2.9	▲ 10.7	-	-
建設業	14.3	▲ 7.9	-	-
卸売業	4.3	▲ 1.6	-	-
小売業	▲ 10.4	▲ 16.6	-	-
サービス業	16.7	▲ 2.6	-	-
全体	6.6	▲ 8.5	-	-

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	5.7	-	▲ 11.6	1.7
建設業	23.8	-	▲ 6.9	
卸売業	▲ 13.0	-	▲ 7.2	1.0
小売業	▲ 13.8	-	0.3	
サービス業	16.7	-	8.4	
全体	7.1	-	▲ 2.6	1.2

(↑非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 60.0	-	▲ 60.2	-
建設業	▲ 71.4	-	▲ 70.3	-
卸売業	▲ 82.6	-	▲ 62.1	-
小売業	▲ 75.9	-	▲ 68.4	-
サービス業	▲ 62.5	-	▲ 61.5	-
全体	▲ 67.5	-	▲ 64.0	-

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 17.1	▲ 23.6	▲ 21.3	▲ 5.5
建設業	▲ 4.8	▲ 20.8	▲ 17.0	
卸売業	▲ 21.7	▲ 16.6	▲ 16.9	
小売業	▲ 48.3	▲ 30.2	▲ 18.8	▲ 3.1
サービス業	▲ 22.9	▲ 19.6	▲ 9.7	
全体	▲ 20.8	▲ 23.1	▲ 16.5	▲ 3.7

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 15.7	▲ 12.7	▲ 15.3	9.0
建設業	▲ 9.5	▲ 7.5	▲ 5.6	
卸売業	▲ 4.4	▲ 8.6	▲ 7.3	
小売業	▲ 24.1	▲ 17.0	▲ 17.1	14.0
サービス業	▲ 20.8	▲ 9.6	▲ 9.7	
全体	▲ 15.6	▲ 11.7	▲ 11.6	12.0

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	10.0	▲ 3.9	－	－
建設業	0.0	▲ 4.3	－	－
卸売業	4.4	1.0	－	－
小売業	▲ 17.2	▲ 4.4	－	－
サービス業	10.4	▲ 2.7	－	－
全体	3.8	▲ 3.4	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 14.3	▲ 14.6	－	0.0
建設業	4.8	▲ 9.5	－	17.0
卸売業	▲ 13.0	▲ 10.5	－	8.0
小売業	▲ 20.7	▲ 21.6	－	7.0
サービス業	4.2	▲ 8.2	－	21.0
全体	▲ 7.1	▲ 13.3	－	8.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

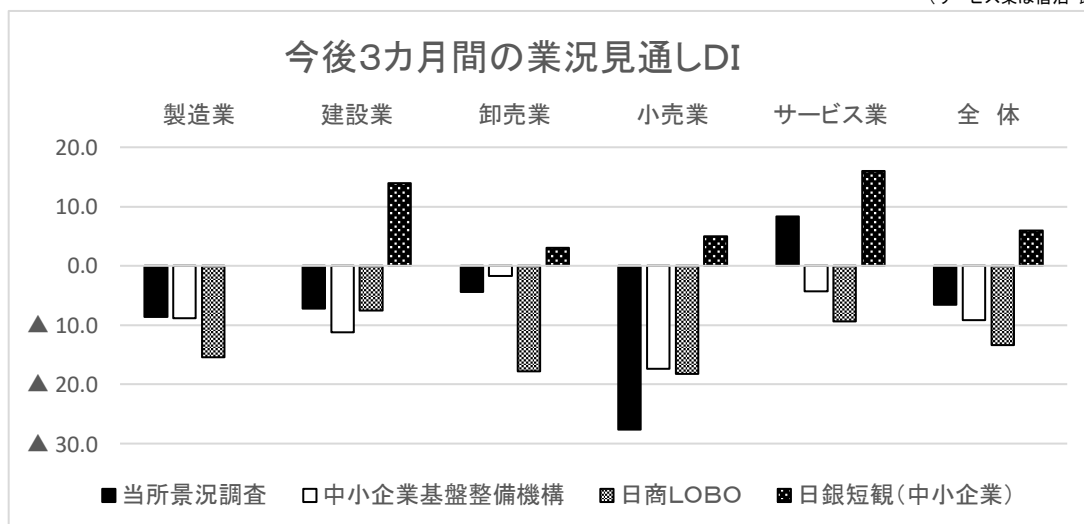
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 7.1	－	▲ 23.5	－
建設業	9.5	－	▲ 11.0	－
卸売業	▲ 13.0	－	▲ 20.0	－
小売業	▲ 24.1	－	▲ 19.3	－
サービス業	0.0	－	▲ 5.0	－
全体	▲ 5.2	－	▲ 15.3	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 8.6	▲ 8.8	▲ 15.4	0.0
建設業	▲ 7.2	▲ 11.2	▲ 7.5	14.0
卸売業	▲ 4.4	▲ 1.7	▲ 17.8	3.0
小売業	▲ 27.6	▲ 17.4	▲ 18.2	5.0
サービス業	8.3	▲ 4.3	▲ 9.4	16.0
全体	▲ 6.6	▲ 9.2	▲ 13.4	6.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <https://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2024年（令和6年）10月15日 発行